

不適合情報

2018年10月22日(月)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、審議時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

<http://www.tepco.co.jp/kk-mp/data/inside/pdf/image1.pdf>

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 1件

NO.	号機等	不適合事象	原子炉安全の観点から見たグレード
1	その他	荒浜側焼却設備監視制御装置の取替において、排水槽ドレン系制御・計器電源の安全処置不備が確認された。これにより排水槽ドレン系のポンプが起動せず、高電導度廃液系排水槽の周囲堰内に水が溢れていることを確認した。周囲堰外への漏洩なし。当該事象の原因を調査。	G III 以下

3. G III グレード 2件

NO.	号機等	不適合事象	備考
1	5号機	放射性廃棄物処理設備建屋差圧計の精度が管理値を超えていることを確認した。当該計器を点検・修理。	
2	その他	水処理設備排水用ブロウ出口逃し弁が動作していることを確認した。当該事象の原因を調査し弁を点検・修理。	